

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成19年4月19日(2007.4.19)

【公開番号】特開2005-63406(P2005-63406A)

【公開日】平成17年3月10日(2005.3.10)

【年通号数】公開・登録公報2005-010

【出願番号】特願2004-77046(P2004-77046)

【国際特許分類】

G 0 6 T 1/00 (2006.01)

G 0 6 T 5/20 (2006.01)

G 0 6 T 7/00 (2006.01)

G 0 6 T 7/60 (2006.01)

【F I】

G 0 6 T 1/00 3 4 0 A

G 0 6 T 5/20 A

G 0 6 T 7/00 1 5 0

G 0 6 T 7/60 1 5 0 B

G 0 6 T 7/60 1 5 0 J

【手続補正書】

【提出日】平成19年3月7日(2007.3.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

画像における人物の顔画像の領域を示す情報を取得する取得手段と、
前記顔画像の領域を示す情報に基づき、前記画像に含まれる顔画像の領域の面積を算出する算出手段と、
前記顔画像の領域の面積に基づき調整情報を設定する設定手段と、
前記調整情報に基づく画像処理を前記画像に施す画像処理手段とを有することを特徴とする画像処理装置。

【請求項2】

前記設定手段は、前記画像に含まれる最大面積を有する顔画像の領域の認識に基づき、前記調整情報を設定することを特徴とする請求項1に記載された画像処理装置。

【請求項3】

前記設定手段は、前記画像に含まれる複数の顔画像の領域の面積に基づき、前記調整情報を設定することを特徴とする請求項1に記載された画像処理装置。

【請求項4】

前記画像処理手段は、前記調整情報に基づき、顔画像を補正する画像処理と、顔画像を補正しない画像処理とを重み付けて加算することを特徴とする請求項1から請求項3の何れか一項に記載された画像処理装置。

【請求項5】

前記画像処理は、少なくとも、人物の肌の色を補正する肌色補正処理、ノイズ除去処理および空間フィルタ処理の何れかを含むことを特徴とする請求項1から請求項4の何れか一項に記載された画像処理装置。

【請求項6】

画像における人物の顔画像の領域を示す情報を取得する取得工程と、
前記顔画像の領域を示す情報に基づき、前記画像に含まれる顔画像の領域の面積を算出する算出工程と、
前記顔画像の領域の面積に基づき調整情報を設定する設定工程と、
前記調整情報に基づく画像処理を前記画像に施す画像処理工程とを有することを特徴とする画像処理方法。

【請求項 7】

請求項 1 から請求項 5 の何れか一項に記載の画像処理装置をコンピュータを用いて実現するために、コンピュータが読み取り可能に記憶媒体に記録されたコンピュータプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、画像における人物の顔画像の領域に応じた画像処理に関する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

本発明は、画像における人物の顔画像の領域を示す情報を取得し、前記顔画像の領域を示す情報に基づき、前記画像に含まれる顔画像の領域の面積を算出し、前記顔画像の領域の面積に基づき調整情報を設定し、前記調整情報に基づく画像処理を前記画像に施すことを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】